

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で7,500cells/ml、ケラチウム属が最高で40cells/ml、シャットネラ属が最高で7cells/ml確認されました。

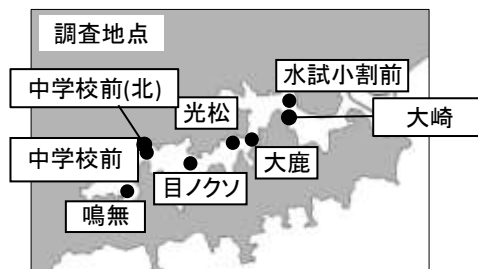
**カレニアは全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。**

カレニアは今後も増殖する危険性があります。慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	ケラチウム属	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	3,800
	2m	670	20	7	600
	透明度: 2.6m	5m	620	0	2
目ノクソ	0m	0	0	0	1,400
	2m	720	40	1	200
	透明度: 3.0m	5m	930	10	1
光松	0m	9	1	0	850
	2m	5,500	21	1	50
	透明度: 2.1m	5m	72	14	0
大鹿	0m	5	0	0	450
	2m	7,500	31	0	50
	透明度: 2.1m	5m	108	12	0
水試小割前	0m	0	0	0	150
	2m	15	7	0	70
	透明度: 4.0m	5m	910	4	0
鳴無	0m	0	0	0	
	2m	3,200	13	5	
	透明度: 1.8m	5m	200	2	0
中学校前(北)	4.0m	5,200	2	0	
大崎	1.0m	6,750	30	0	



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモイ:  
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属:  
100cells/ml(餌食いの悪化)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>